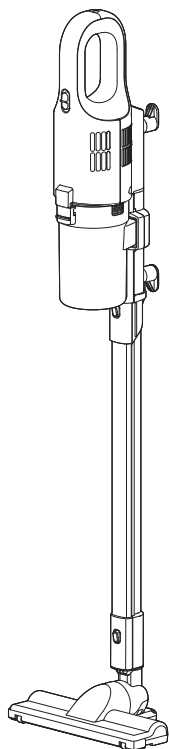


取扱説明書(WEB)

AC 式サイクロンスティッククリーナー

型番:SCA-113[室内・家庭用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ 一般家庭用以外でご使用にならないでください。
無償保証の対象外になることがあります。
- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「[安全上の注意 P7](#)」を必ずお読みください。
- ・ WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

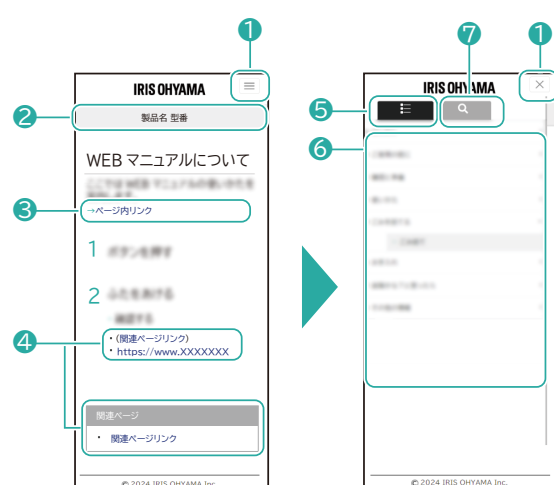
ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

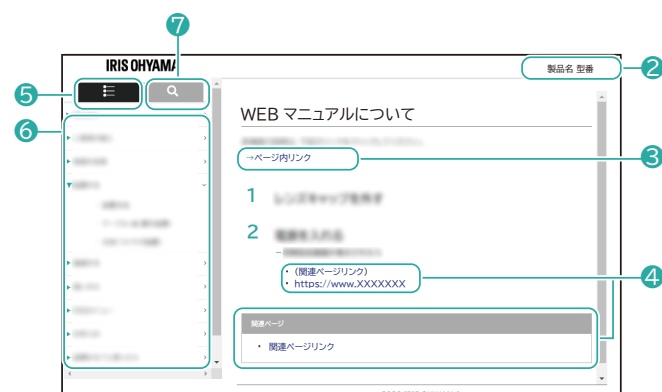
- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	7
安全上の注意.....	7
使用上の注意.....	12
確認と準備.....	13
各部の名称.....	13
付属品.....	16
クリーナーの組み立て.....	17
使いかた.....	18
掃除する.....	18
ハンディクリーナーとして使用する.....	20
ごみを捨てる.....	21
ごみ捨て.....	21
お手入れ.....	24
お手入れの時期・方法.....	24
1 週間に 1 回程度.....	25
1 か月に 1 回程度.....	26
故障かな？と思ったら.....	31
吸引力について.....	31
本体について.....	32
モーターの過熱保護装置について.....	33

その他の情報..... 34

 廃棄について..... 34

 仕様..... 35

 別売品・消耗部品について..... 36

 保証とアフターサービス..... 37

 保証規定..... 38

 お問い合わせ..... 39

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P7](#)

→ [注意 P10](#)

図記号の意味

		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	- 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
	お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。
	ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 乳幼児に電源プラグを触れさせない けがや感電の原因になります。 - 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけどや火災の原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 - 電源コードを傷付けない - 持ち運び時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

	- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。(電源コードの交換は、製造業者もしくはその代理店または同等の有資格者によって行います。) - コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。 - 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。
 プラグを抜く	- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電・発煙のおそれがあります。 〔異常の例〕 - 異常な音やにおいがする - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする - 触れるとピリピリ電気を感じる ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P39(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
	- スプレーをかけたり、吸わせたりしない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)  - 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、可燃性のものを吸わせない - 油煙や湯気を吸わせない - カーペット用洗剤など、泡状・液状のものを吸わせない - 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない 吸い込むと火災の原因になります。
 分解禁止	分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P39(☎ 電話をかける)へお問い合わせください。
 水ぬれ禁止	- 雨の中や水回り、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない - 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない 火災・感電の原因になります。
	本製品は安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で使用することを意図しておりません



- ・ 子どもが本製品で遊ぶことがないように注意する



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。



- ・ 掃除以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。
- ・ 業務など家庭用以外で使用しない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。



- ・ 運転中にダストカップを外したり、電源コードを巻き付けたりしない
事故の原因になります。

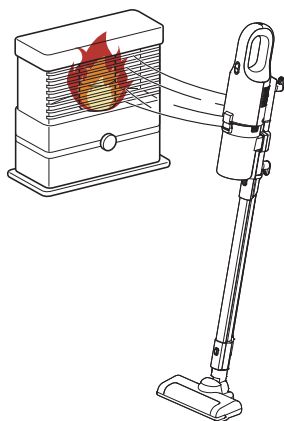


- ・ 延長パイプが破損しているときは使用しない
破損してけがの原因になります。修理については[修理専用コール P39](#) (☎ [電話をかける](#))へご連絡ください。



火気禁止

- ・ 火気・暖房機器などに近づけない
吹き出す風で暖房機器の炎が大きくなり、火災などの原因になります。



※イラストはイメージです。



- ・ 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない
- ・ 排気口をふさがない
過熱による変形・故障・火災の原因になります。



- ・ 乗ったり、寄りかかったりしない
けがの原因になります。
- ・ 屋外では使用しない
故障してショートや火災の原因になります。

	・ 移動するときは必ずハンドルを持つ 延長パイプを持って本体をぶら下げたり、フロアヘッドを持って移動したりしないでください。落下してけがの原因になります。
	・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
 - 水や液体、ぬれたごみなど
 - 多量の粉(消火器の消火剤など)
 - 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
 - 多量の砂、小石など
 - ペットのふんなどが付着したもの
 - 多量のごみ
 - 大きなごみ
 - ビニール袋やストッキングなど内部につまりやすいもの
- 本製品は防磁設計ではありません。本製品の近くに時計や磁気カード(クレジットカード)など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。

— 保護装置について

ダストカップがごみでいっぱいな状態や、排気フィルターやスポンジフィルターが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

保護装置が働いたら

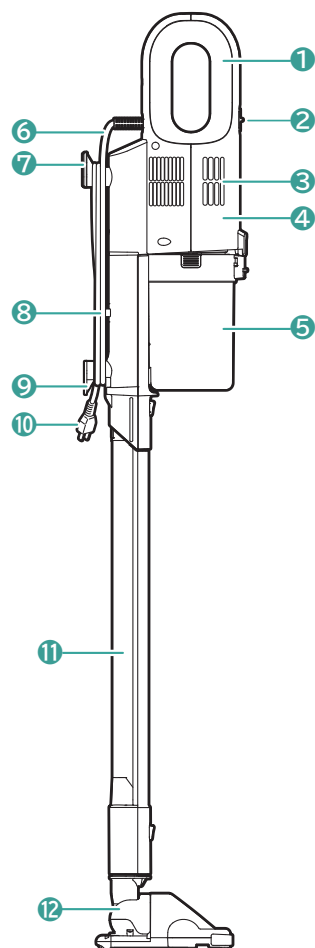
- 本体の電源スイッチを「OFF」にしたあと、電源プラグをコンセントから抜く。
- ダストカップと排気フィルター、スポンジフィルターをお手入れする。
- フロアヘッド、延長パイプなどに詰まりがないことを確認する。
- 涼しい場所におく。

約 1 時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

確認と準備

各部の名称

— 本体

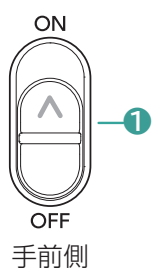


- ① ハンドル
- ② 操作部
- ③ 排気口
- ④ 本体
- ⑤ ダストカップ
- ⑥ 電源コード
- ⑦ コードフック上
- ⑧ コードホルダー
- ⑨ コードフック下

※回転しません。

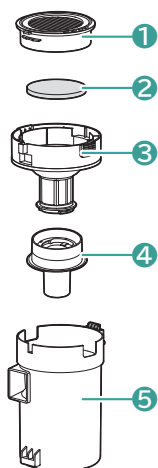
- ⑩ 電源プラグ
- ⑪ 延長パイプ
- ⑫ フロアヘッド

— 操作部



① 電源スイッチ

— ダストカップ



① 排気フィルター

② スポンジフィルター

③ サイクロンユニット(上)

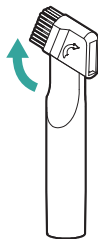
④ サイクロンユニット(下)

⑤ ダストカップケース

付属品



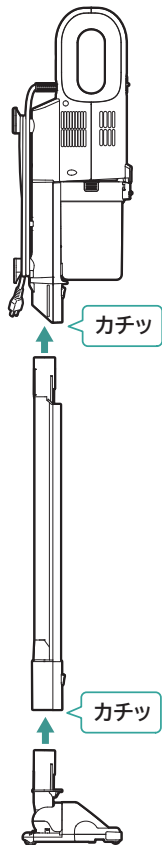
先端を回転させて、
ブラシノズル
としても
使用できます。



すき間ノズル

クリーナーの組み立て

- ・本体に延長パイプを差し込んでください。
- ・延長パイプにフロアヘッドを差し込んでください。



使いかた

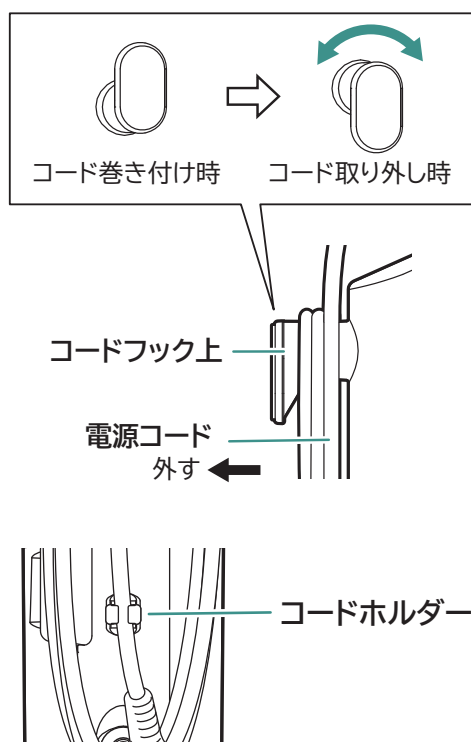
掃除する

— 電源コードの取り外しかた

コードフック上を回転させると電源コードが外れやすくなります。

※コードフック下は回転しません。

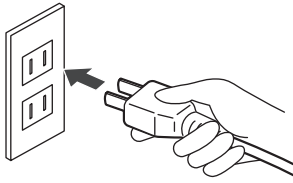
収納時は電源コードをコードフックに巻き付け、コードホルダーでとめてください。



- ・ 電源プラグの抜き差しを行う際は、必ず電源スイッチをスライドさせて OFF にしてください。
- ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。
- ・ 使用後は、電源プラグを差し込んだまま放置せず、必ずコンセントから抜いてください。

電源プラグを差し込む

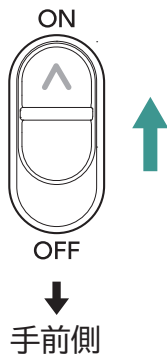
1



電源スイッチを ON 側にスライドする

- ・ 運転を開始します。

2

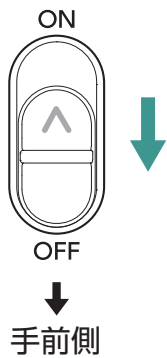


掃除をする

掃除が終了したら、電源スイッチを OFF 側にスライドする

- ・ 運転が停止します。

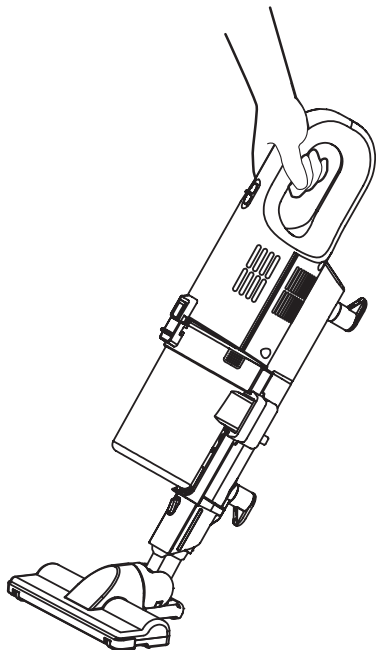
4



ハンディクリーナーとして使用する

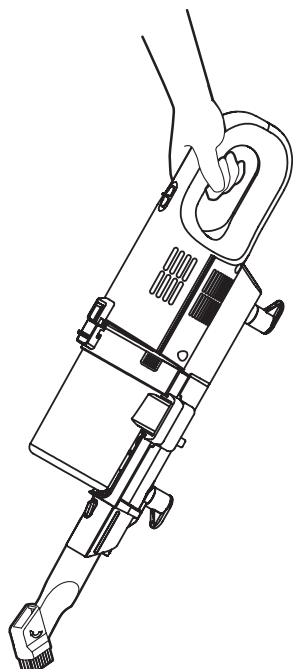
—フロアヘッド

- ・ 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



—すき間ノズル

- ・ 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。

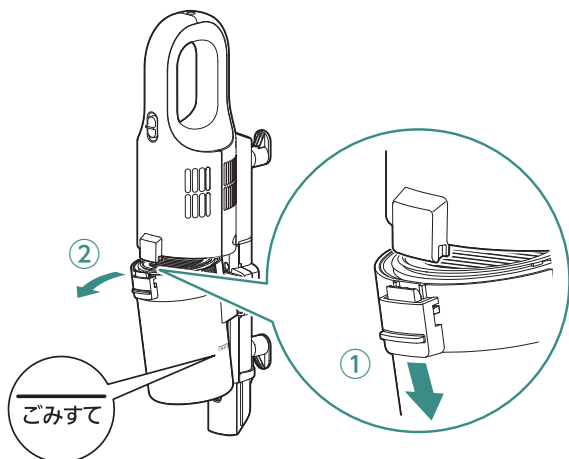


ごみを捨てる

ごみ捨て

ダストカップのごみは、ごみすてライン(目安)を超える前に捨ててください。

- ① ダストカップ取り外しボタンをスライドさせる
- ② ダストカップが外れるので、前に引き出すようにして外す

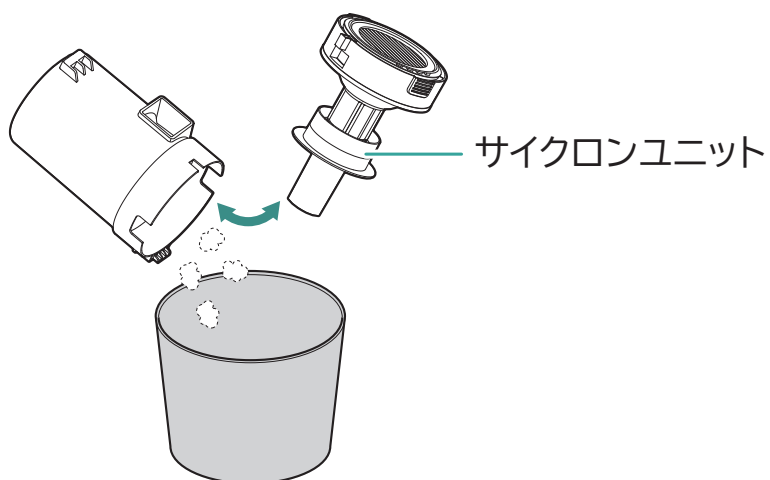


注意

- ・ ダストカップ取り外しボタンをスライドさせずに無理に取り外すと、破損の原因になります。

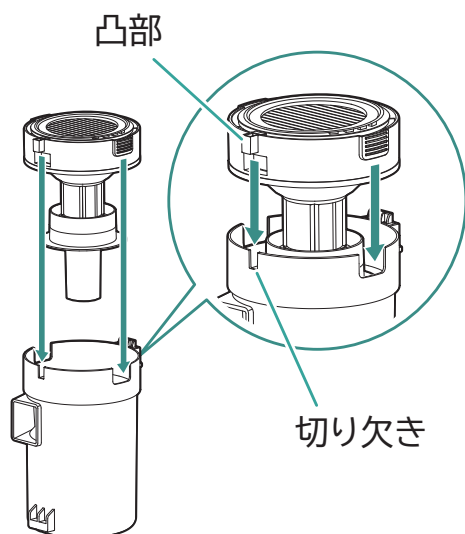
サイクロンユニットを上引いて取り外し、ごみを捨てる

※ ごみが飛び散らないように、必ずごみ箱の上で行ってください。



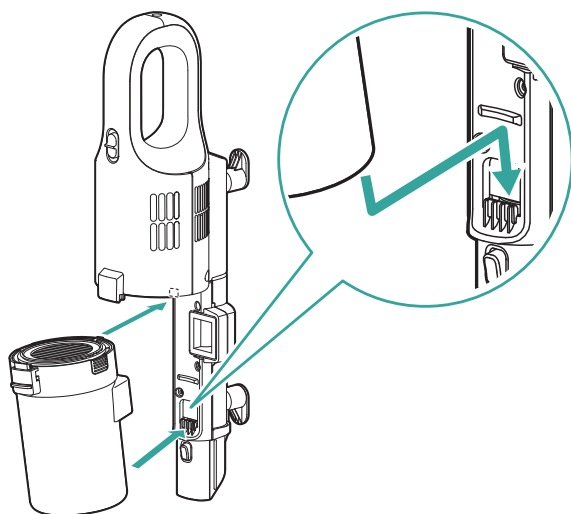
ごみ捨て後、サイクロンユニットを取り付ける

サイクロンユニットの凸部をダストカップケースの切り欠きに合わせて、まっすぐ奥までしっかり取り付けてください。

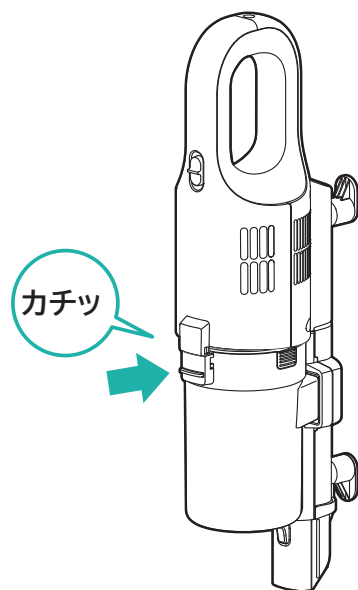


ダストカップを本体に取り付ける

1. ダストカップ下側の凸部を本体のつめにひっかける



2. ダストカップを、カチッと鳴るまで押し込みます。



※ 確実にダストカップを押し込んでください。



注意

- ・ フィルター類を忘れずに取り付けてください。
ごみが内部に侵入し、発火・発煙のおそれがあります。

お手入れ

お手入れの時期・方法

お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
1 週間に 1 回程度 P25	本体・延長パイプ・フロア ヘッド外側・すき間ノズル P25	汚れの拭き取り
1 か月に 1 回程度 P26	ダストカップ P26	水洗い
	本体風路・延長パイプ P30	ごみつまり除去
	フロアヘッド P30	ごみつまり除去

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。

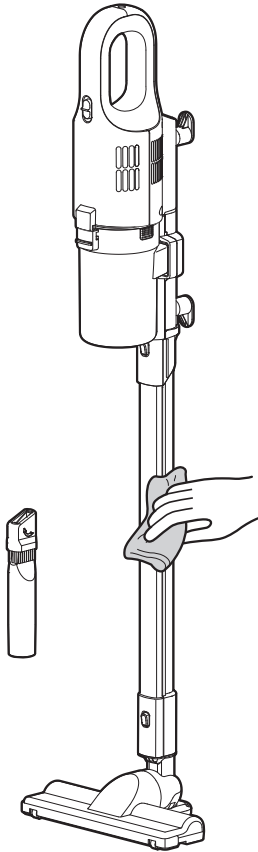


- ・ お手入れは、必ず運転を停止し、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。
- ・ 本体・電源コードには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- ・ 水洗い後はよく水を切り、風通しのよい場所に約 24 時間置き、十分に乾かしてください。モーターの故障・異臭の原因になります。
- ・ 洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんは使用しないでください。
- ・ 吸引力低下や故障の原因になります。定期的にお手入れしてください。

1 週間に 1 回程度

— 本体・延長パイプ・フロアヘッド外側・すき間ノズル

よく絞ったやわらかい布で、本体・延長パイプ・フロアヘッド外側・すき間ノズルなどを拭いてください。



1 か月に 1 回程度

→ [ダストカップ P26](#)

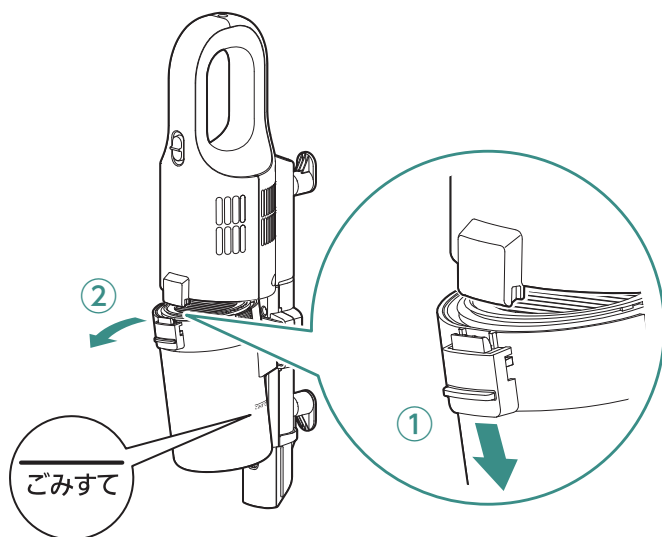
→ [本体風路・延長パイプ P30](#)

→ [フロアヘッド P30](#)

—ダストカップ

ダストカップを本体から取り外す

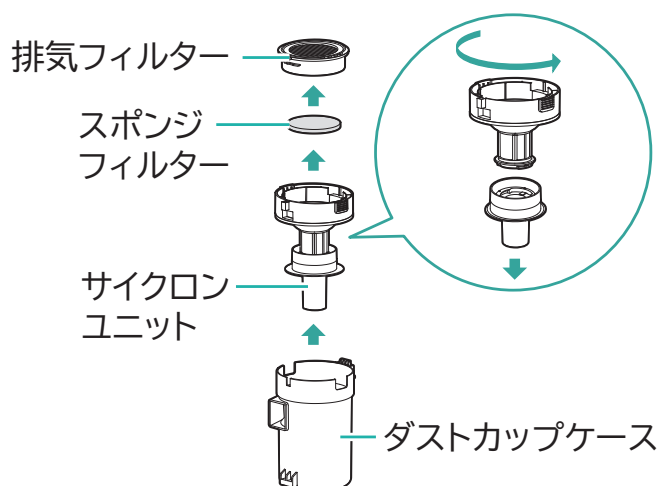
- ① ダストカップ取り外しボタンを押してロックを外します。
- ② ダストカップを手前に引いて取り外します。



※ ダストカップ取り外しボタンを押さずに無理に取り外すと、破損の原因になります。

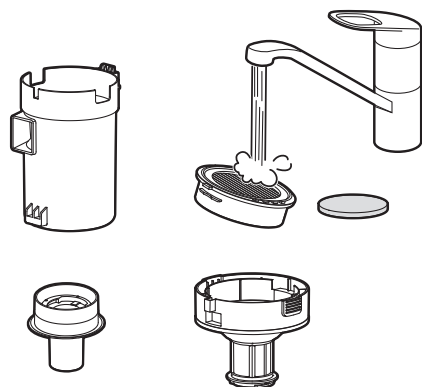
※ ダストカップにごみが入っていたら、捨ててください。

排気フィルター、スポンジフィルター、サイクロンユニット、ダストカップケースを取り外す

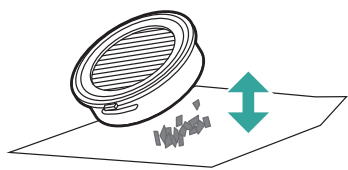


ごみを落とし、水洗いする

- サイクロンユニット・ダストカップケース・スポンジフィルターは、軽くはたいてごみを落とした後、水洗いしてください。



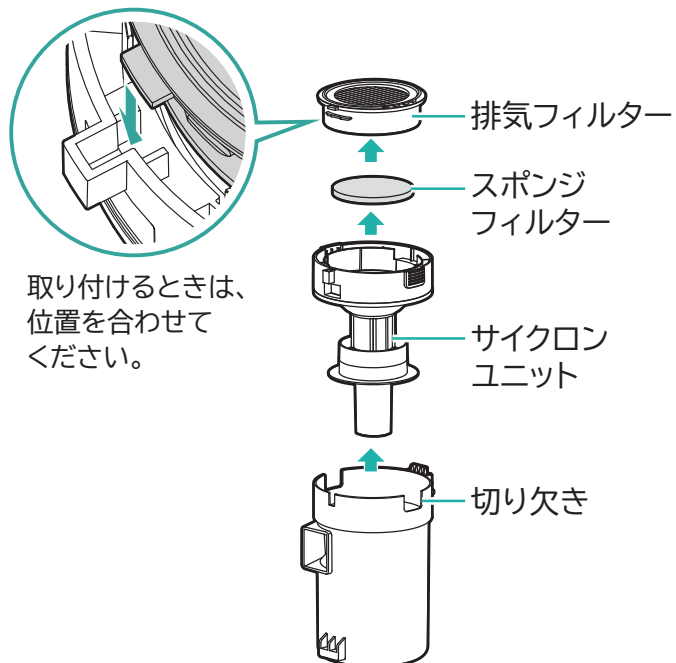
- 排気フィルターはごみをはたき落としてください。



- 水洗いした後、よく水を切り、風通しの良い場所に約 24 時間置き、十分に乾かしてください。水分が残っていると、吸い込まれてモーターの故障または異臭の原因になります。
- ドライヤーなどの熱風を当てないでください。変形や故障の原因になります。

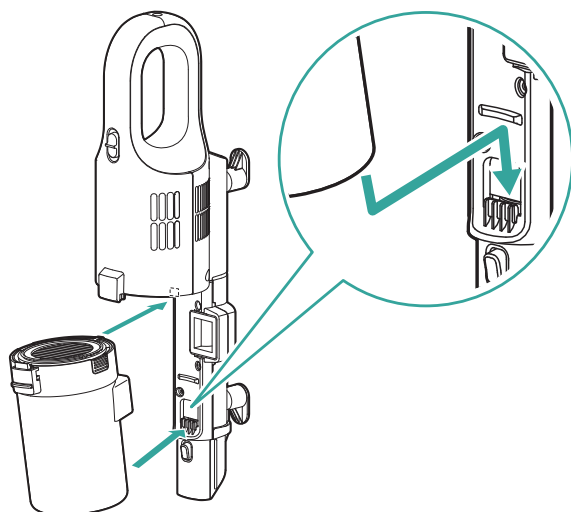
逆の手順でダストカップを組み立てる

- ・ スポンジフィルターをサイクロンユニット中央のくぼみに入れてから、排気フィルターをサイクロンユニットに取り付け、サイクロンユニットをダストカップケースに取り付けます。

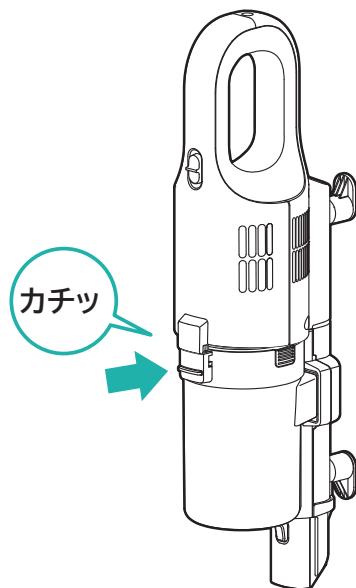


ダストカップを本体に取り付ける

1. ダストカップ下側の凸部を本体のつめにひっかける



2. ダストカップを、カチッと鳴るまで押し込みます。

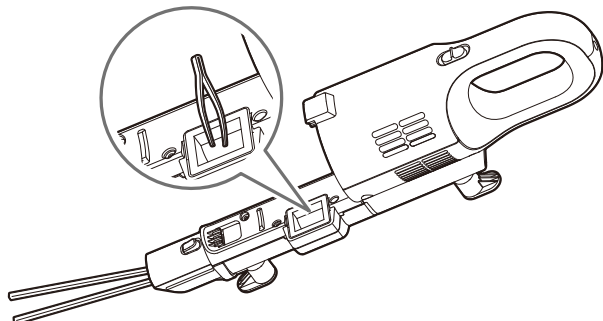


※ 確実にダストカップを押し込んでください。

ー 本体風路・延長パイプ

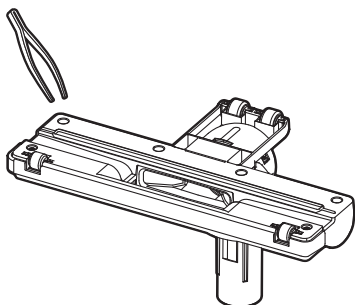
本体風路・延長パイプ内部にごみがつまると、吸引力が低下します。

定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。



ー フロアヘッド

- ・フロアヘッドの吸い込み口にごみがつまったら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。
- ・フロアヘッドの内部にごみがつまると、吸引力が低下します。定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。



お手入れをしても吸引力が弱い場合は、[別売品のフィルター P36](#) をお買い求めください。

故障かな？と思ったら

吸引力について

— 吸引力が弱い

→ダストカップがきちんと取り付けられていない

ダストカップが正しく取り付けられているかご確認ください。(→[ごみ捨て P22](#))

— 吸引力が弱い／運転音が大きい

→ダストカップにごみがたまっている

- ・ ごみを捨ててください。(→[ごみ捨て P21](#))
- ・ ごみすてライン以上にごみをためないでください。

→排気フィルター・スポンジフィルターが目詰まりしている

ダストカップを取り外して、排気フィルター・スポンジフィルターのお手入れをしてください。(→[ダストカップ P26](#))

→本体風路・延長パイプ・フロアヘッドにごみがつまっている

つまっているごみをお手入れして取り除いてください。(→[本体風路・延長パイプ P30](#)・[フロアヘッド P30](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店または[アイリスコール P39](#)(☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P39](#)

本体について

—ダストカップが取り付けできない

→ダストカップ下側の凸部が本体のつめにひっかかっている

ダストカップ下側の凸部が本体のつめに確実にひっかかるようにしてから、上部を押し込んでください。(→[ごみ捨て P22](#))

—使用中、本体が温くなる

→モーターの発熱のため、本体が少し温くなる

異常ではありません。ゴミ捨て、お手入れをすることで発熱が緩和されます。(→[ごみ捨て P21](#)、[ダストカップ P26](#)、[本体・延長パイプ・フロアヘッド外側・すき間ノズル P25](#)、[本体風路・延長パイプ P30](#)、[フロアヘッド P30](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店または[アイリスコール P39](#)( [電話をかける](#))にお問い合わせください。



・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P39](#)

モーターの過熱保護装置について

本体や排気(本体側面)は運転中や運転後に熱くなりますが、異常ではありません。

しかし、ダストカップがごみでいっぱいな状態や、排気フィルターやスポンジフィルターが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

● 保護装置が働いたら

- ・ 本体の電源スイッチを「OFF」にしたあと、電源プラグをコンセントから抜く。
- ・ ダストカップと排気フィルター、スポンジフィルターをお手入れする。
- ・ フロアヘッド、延長パイプなどに詰まりがないことを確認する。
- ・ 涼しい場所におく。
約 1 時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店または[アイリスコール P39](#)( [電話をかける](#))にお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ P39](#)

その他の情報

廃棄について

製品を廃棄する場合は、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

電源	AC100V、50/60Hz
定格消費電力	480W
集じん容量	ごみすてラインまで 0.3L 最大容量 0.5L
吸込仕事率	100W
製品寸法	フロアヘッド・延長パイプ含む:970×235×238 mm
製品質量	本体のみ:1.4kg フロアヘッド・延長パイプ含む:1.7kg
使用温度	0～40℃
コード長さ	4m
付属品	すき間ノズル

※製品の仕様は予告なく変更することがあります。

別売品・消耗部品について

別売品・消耗部品についてはお買い上げの販売店または[アイリスプラザ](#)でお買い求めください。

アイリスプラザのサイトでは、「検索ボックス」に「型番」を入力して検索してください。

[排気フィルター CFT79](#)

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は、「かんたん操作ガイド」の裏面にあります。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。
ただし、一般家庭以外でのご使用など、保証期間内でも無償保証の対象外になる場合があります。
詳しくは[保証規定 P38](#) を参照ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P39](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P39](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示の上、修理をご依頼ください。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、[アイリスコール P39](#) (☎ [電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外(たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 保証書の提示がない場合
 - ⑦ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisplaza.co.jp/index.php?KB=KAISO&CID=5457>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>